



# はぐ便り

2025年  
5月号  
【第119号】

## 子どもが登園・登校をしづったら...

子どもに「行きたくない」と言われたり、ぐずったりするなど、登園・登校をしづられた経験をもつ保護者の皆様は多いのではないのでしょうか。もし、子どもに登園・登校をしづる傾向が見られたら、「このまま不登校になったらどうしよう?」と焦ってしまいますね。

今回は、登園・登校しづりについて考えてみましょう。

### 1. これって登園・登校しづり?



春は、新しい友達や先生との生活が始まる季節です。また、運動会に向けた練習も始まり、慣れない環境の中で、子どもたちは目の前のことに一生懸命取り組んでいます。大型連休や、大きな行事が終わり、ホッと一息ついた後には、解放感から一転して、再び始まる学校生活を前に緊張が高まり、体調不良や精神的な不調を訴えることがあります。それまで元気に登園・登校していたのに、急に様子が変わると、「なまけているのでは?」と思ってしまいがちですが、それは子どもが何かストレスを抱えているサインかもしれません。

### 2. 大事なことは子どもに寄り添うこと



子どもが登園・登校をしづった時、親がやるべきことは、子どもの心に寄り添うことです。無理に行かせようとすると親子ともに負担がたまってしまいます。まずは、「行きたくない」という気持ちを一旦受け止めて、安心感を与えることが大切です。家庭は、子どもにとって心の安全基地です。

心がストレスを感じたときや、つらいときに、癒され、また外の世界に出ていく意欲を回復する場です。「安心していいよ」というメッセージは伝えた上で、しづる理由を聞きだす必要があります。

しづる要因が解消しなければ、ますます深刻になる可能性があるからです。しかし、本人が自覚していないことや、上手く言葉で言えない場合も多いので、「なぜ?」と問い詰めるのではなく、一緒に活動するなどしながら、日常会話の延長上で情報や気持ちを引き出してみましょう。

しづる理由は、「その日の機嫌や気分」、「母子分離不安」、「交友関係」、「園や学校での失敗体験」などさまざまです。理由がわかったら、子どもの性格や状況にあわせて対応を考えましょう。

### 3. 通っている園や学校に相談する



時間がかかりそうな時は...

迷わず園や学校に相談してみましょう。

ご家庭で子どもから聞き取った情報と、園や学校で把握している子どもの様子を合わせて考えることで、より詳細な状況が分かります。

ご家庭と園や学校が協力して、子どもが登園、登校をしづる要因の解消に努めることが早期解決につながります。



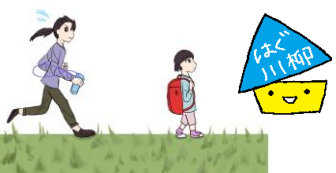
長引きそうな場合には...

園や学校では、担任だけでなく、スクールカウンセラー等の専門家や管理職も含めたチーム体制で協議し、最適な支援方法を検討していきます。

必要に応じて、医療、福祉などの外部機関とも連携します。

保護者といっしょに活動したり、会話したりすることでエネルギーが充填されて、再び園や学校に出ていく意欲が回復し、短時間で解決することもあります。

子どもが登園・登校をしづった時には、まずは、子どもの気持ちに寄り添うこと。そして、担任をはじめとした園や学校との連絡を密にして、子どもがしづる要因を明らかにし、その解消に努めることが大切です。



忘れ物  
サンダル  
タンクで  
追いかける

盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』2025年5月号  
【119号】 令和7年5月16日発行  
発行者・問合せ：盛岡市教育委員会 生涯学習課  
住所：盛岡市津志田14-37-2 TEL:019-639-9046  
E-mail:edu.sgs@city.morioka.iwate.jp

